



# 市議会だより

No.263

編集者  
議会広報委員会

発行所  
吹田市議会事務局  
吹田市泉町1丁目3番40号  
直通電話 06-6384-2696  
FAX 06-6338-0920



1月15日に市内各地で実施された防災訓練では、多くの市民が参加し、消火訓練や防災用資器材の確認等が行われました。



## 職員給料の減額条例などを可決

### ガンバ大阪新スタジアム 寄贈受け入れ

12月定例会が12月6日から26日までの会期で開かれました。

ガンバ大阪新スタジアムの市への寄贈を受け入れる案件をはじめ、職員の給料を職務の等級に応じて減額する特例条例案や、平成23年(2011年)度の一般会計補正予算案など83件が市長から提出されました。

市長から提出された議案のうち、任期付職員の採用に関する条例案、職員の退職手当条例の改正案、及び各種使用料・手数料の見直しを行うための条例改正案など計26件については、慎重に審査するため、次期定例会まで継続審査となりましたが、その他の議案はすべて可決されました。

#### 予 算

##### 1 一般会計

平成23年(2011年)度一般会計予算は1億658万円が減額補正され、総額が1107億9206万円となりました。増額補正の主な内容は、独居高齢者等に医療情報などを書いた書類を保管するキットを配布する事業に178万円、子ども手当から保育料等の徴収ができるよう保育業務システムの改修に281万円、北第2工場解体撤去に伴う汚染土壌の搬出に2237万円、地域の自主防災組織等を行う防災用資器材の整備や防災訓練の実施等に係る経費の補助に875万円などです。

また、給与制度改革に伴う人件費の減額として、1億4020万円が減額補正されました。

##### 2 特別会計・事業会計

給与制度改革に伴う人件費の減額として、国民健康保険会計など6特別会計及び水道・病院

#### 単行事件

事業会計で総額3046万円が減額補正されました。

負担付きの寄附の受納

株式会社ガンバ大阪を指定管理者に指定することなどを条件として、ガンバ大阪新スタジアムの寄贈を受け入れるものです。

(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業契約の一部変更

#### 主な条例

職員給料の特例条例の制定  
職員給与条例の一部改正

本年1月1日から平成26年(2014年)3月31日までの間、職務等級に応じ、職員給料を3・12・5%減額し、また、職務等級の整理や各等級の給料月額改定などを行うものです。教育委員会の職務権限の特例条例の制定

施設全体をより有効的、効率的に機能させ、利用者の利便性向上を図るため、一部の施設名称と諸室の機能の変更を行うものです。

公の施設の指定管理者の指定  
次の施設の管理を行う指定管理者の指定を行うものです。  
各市民ホール(8施設)、内本町・亥の子谷コミュニティセンター(コミュニティプラザ、消費生活センター、千里山竹園児童センター(全員賛成で可決)各市民センター等(4施設)(賛成多数で可決)

指定期間 平成24年(2012年)4月1日から3年間  
自然体験交流センター(全員賛成で可決)  
文化会館(賛成多数で可決)  
指定期間 平成24年(2012年)4月1日から5年間

公の施設の指定管理者の指定期間の変更  
平成24年(2012年)3月31日までとなっていた千里市民センターの指定管理者の指定期間を、平成24年(2012年)8月31日までに変更するものです。

事務分掌条例の一部改正  
教育に関する事務のうち文化に関するものを市長が管理、執行し、また、市長の権限に属する事務を分掌する組織を変更するものです。(賛成多数で可決)

情報公開条例、市有墓地条例、資源リサイクルセンター条例、下水道条例、公民館条例及び少年自然の家条例の一部改正  
使用料・手数料及び自己負担

#### 請 願

12月定例会では、市民から請願3件が提出され、2件を採択し、1件(文教市民、福祉環境委員会に分割付託)を継続審査としました。

#### 採択された請願

福祉バス貸付事業に関する請願  
事業見直し会議で廃止と判断された福祉バス貸付事業は、高齢クラブにとって必要不可欠であり、ぜひ継続してほしい。

東日本大震災災害廃棄物の広域処理に関する請願  
東日本大震災で発生した災害廃棄物を市内に受け入れたり、市内の焼却場で焼却したりしない

#### 人 事

12月定例会では、次の方の選任に同意しました。  
教育委員会委員(任期平成25年2013年12月23日まで)  
南正雀4丁目1番31号 西川 俊孝氏

金改定に関する基本方針に基づき、手数料や施設使用料の改定等を行うものです。  
環境影響評価条例の一部改正  
環境影響評価に関する手続きを見直すとともに、運動・レジャー施設の建設等を新たに対象事業とするものです。

千里ニュータウン情報館条例(賛成多数で可決)  
(審査内容の一部は4面に掲載)

「事業見直し会議」での評価結果を再考し市民サービスを削減させないことを求める請願  
契約の締結  
吹田市議会本会議放映システム機器購入(2205万円)  
吹田市立山田第一小学校校舎改築工事(建築工事)(8億9114万円)

吹田市立山田第一小学校校舎改築工事(電気設備工事)(1億5774万円)  
12月定例会で選挙を行い、次の方々が当選されました。  
選挙管理委員(任期4年)  
内本町1丁目15番14号 山根 孝氏  
櫻切山4番22-207号 穴吹 立比古氏  
佐竹台1丁目5番5-605号 森本 彪氏  
千里山竹園2丁目3番10号 諏訪 博行氏  
選挙管理委員補充員(任期4年)  
津雲台3丁目2番4-305号 野村 義弘氏  
山手町4丁目22番2号 佐野 政子氏  
山田市場9番1-801号 御田 孝行氏  
幸町1番17号 平田 佳治氏

# 代表質問から

12月13日、14日に各会派を代表して8人の議員が代表質問を行いました。質問と答弁の一部をお伝えします。(6人以上の会派の代表質問は2項目掲載しています。)

なお、このほか14人の議員が個人質問を行いました。その内容は後日作成される会議録をご覧ください。会議録は市役所の情報公開課をはじめ、図書館や地区公民館等に備えており、市議会のホームページでもご覧になれます。

## 公明党 吉瀬 武司

### 老朽化する公共施設等

安全確保へ新たな手法を

**問** 学校や公民館などの公共施設や、道路や橋りょうなど老朽化した社会インフラの安全性

確保は、市民生活の安全を守る観点から、行政の責任として進めるべき事業である。

**答** 昨年6月に民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)が改正され、公共施設等運営制度が導入された。自治体が所有権を保持しながら、公共施設やインフラなどの運営権を民間の事業者に付与し、収益性の高い事業を実施してもらうものである。



下水処理施設など社会インフラの老朽化が進む

公共施設等の老朽化への対応が先送りできない。公共施設等の老朽化への対応が先送りできない。公共施設等の老朽化への対応が先送りできない。

## 自由民主党 豊田 稔

### ガンバ大阪新スタジアム

経済効果を生む条件整備を

**問** ガンバ大阪新スタジアム開設後の観客の消費支出は、年間約45億円と見積もられており、地元商店等が参入できれば、本市への直接的な経済波及効果が見込める。地元商店等の育成

に優先的に協力してもらえないか。ガンバ大阪に対する条件を整備すべきではないか。

**答** 市長 新スタジアムは、スポーツ振興にとどまらず、にぎわいの創出や地元経済の活性化等に大きく寄与すると確信している。本市へ寄贈後は公の施設になることから、飲食事業を

も提出されている。同審議会での検討内容に対し、整合性のある政策を採るべきではないか。

**答** 福祉保健部長 事業見直し会議においては、事業の選択と集中により市民サービスの質的向上と最適化を目指すため、高齢者福祉に係る事業に対しては、高止まり、縮小の方向性が示されたが、最終的には政策会議等であり方が決定される予定である。

現在策定中の第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の将来像や基本目標は変わるものではなく、今後も高齢者福祉の推進に取り組んでいきたい。

**問** 本市の特徴である充実した福祉施策を、他市との比較により平均的な福祉レベルに削減するといった指標の設定は再検討し、本市の特徴を生かしつつ、市民が納得できる指標を設定すべきではないか。

**答** 副市長 事業見直しの指標の一つとして、他市比較という観点もあげているが、費用対効果や有効性、効果性、持続可能性の面から改善できる余地を見いだしつつ、選択と集中を図りながら本市の独自性をどう生かすかを多面的に検討するのが、今回の見直しの趣旨である。

各事業の必要性、手法の妥当性などを含め、持続可能な福祉施策への転換を図っていきたい。

**答** 危機管理監 ガンバ大阪から、緊急避難所への転用のほか、雨水貯留槽、ろ過設備、災害用備蓄倉庫など、さまざまな設備や機能を備えた新スタジアムの建設が提案されている。災害時に有効な機能を持つスタジアムとして建設されることは望ましいと考えており、今後、関係部局と連携を図り、活用方法を検討したい。

## すいた市民自治 西川 敏穂

### 腎臓病の早期発見

先進事例を導入せよ

**問** 腎臓は沈黙の臓器と呼ばれる、疾患の早期発見が難しく、人工透析に至ることが多い。人工透析は体への負担や日常生活就労への影響も大きいと聞く。血清クレアチニン検査は、自治体の健康診断や病院の血液検査でも測定される項目でありながら、受診者本人もあまり関心を示さない項目である。

尼崎市では、このクレアチニンの数値を当てはめるだけで腎臓の状態がわかる簡易チャートを開発し、市民に周知を図った結果、人工透析患者数の減少に成功し、医療費の削減効果も上がった。多額の費用を掛けずに大きな効果を出しているこの取り組みを、本市でも導入してはどうか。

**答** 福祉保健部長 現在、本市においても腎臓病の早期発見のため、30歳代健康診断や国民健康保険の健康診断においてクレアチニン検査を実施している。尼崎市のような簡易チャートは作成していないが、検査結果に基づき、医師による個別結果説明を実施し、必要な方には精密検査や治療の勧奨を行っている。特定保健指導においても、腎臓病に悪影響を及ぼすおそれのある糖尿病や高血圧等の生活習慣病予防について、保健師や栄養士による指導に力を入れている。

今後、腎臓病の早期発見のため、先進自治体の事例等を参考に、研究を重ねていきたい。

## 吹田新選会 後藤 恭平

### 政策の不均衡

市長の考えを聞く

**問** 現在市長が提案している給与制度改革や使用料・手数料の増額などの施策内容を個々に見ていくと、休職している職員の給与や税金を支払わない市民への制度改革が手付かずのままになっている。

このような給与と制度や受益と負担のバランスを著しく欠いた施策が、モラルハザードを引き起こし、不満につながっていく。こうした政策の不均衡について、市長の考えを聞きたい。

**答** 市長 職員に関しては、メリハリある給与と制度への転換をはじめ、公正、公平な人事評価制度の確立や分限基準の策定などを順次進めたい。

り組みを、本市でも導入してはどうか。

**答** 福祉保健部長 現在、本市においても腎臓病の早期発見のため、30歳代健康診断や国民健康保険の健康診断においてクレアチニン検査を実施している。尼崎市のような簡易チャートは作成していないが、検査結果に基づき、医師による個別結果説明を実施し、必要な方には精密検査や治療の勧奨を行っている。特定保健指導においても、腎臓病に悪影響を及ぼすおそれのある糖尿病や高血圧等の生活習慣病予防について、保健師や栄養士による指導に力を入れている。

今後、腎臓病の早期発見のため、先進自治体の事例等を参考に、研究を重ねていきたい。

また、市民間の負担の均衡については、受益と負担の公平性を確保する観点から、使用料等の見直しを提案している。

**問** 大阪維新の会から立候補し、当選した井上市長は、選挙の時だけの連携ではなく、よい政策をまねても、市民や府民の期待を裏切ることのない、公正かつ大胆な改革に責任を持って取り組むべきではないか。

**答** 同 大阪維新の会とは選挙の時だけの関係ではなく、大阪維新の会の顧問として、これから共に改革を進めていく。市長として市政を運営する中で、大阪維新の会の改革手法の正しいところは見習うが、それぞれの施策を進める際には、市民や議会の意見を伺い、判断していきたい。

# 政府等意見書

次の意見書案3件を可決し、政府等に送付しました。

災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求めるとの意見書

次の事項を強く要望する。(1)東海・東南海・南海地震の影響が想定される地域のミッシングリンクの解消を始め、幹線道路ネットワークを構成する道路を優先的に整備すること(2)学校施設の防災機能の向上のための環境整備の充実を図りつつ、公立学校の耐震化を加速度的に推進すること(3)公共施設や社会インフラの維持、管理など、計画的な老朽化対策を推進すること(4)地盤の液状化による災害を抑制するための技術的ガイドラインを早急に作成するなど、宅地被害対策の強化を図ること。(全員賛成)



防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

次の事項を速やかに実施するよう強く要望する。(1)中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること(2)地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するため、都道府県知事や市区町村長の裁量により、地方防災会議に有識者枠を設けることを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うこと。(全員賛成)

障がい者の権利を保障する新たな総合福祉法の制定を求める意見書

障害者総合福祉法(仮称)の確実な成立・施行を求めるとともに、次の事項を要望する。(1)同福祉法(仮称)制定に当たり、同推進会議総合福祉部会が取りまとめた、新たな障害者総合福祉法(仮称)についての意見、提言を尊重し、障がい者ら当事者の意見を十分に反映させること(2)同福祉法(仮称)において、障がい者の自立した地域生活が可能となる、質的・量的に充実した障がい福祉施策の提供体制を確立すること(3)同福祉法(仮称)制定に当たり、障がい者福祉制度を充実させるため地方自治体の財源を十分確保すること。(賛成多数)

なお、このほか「女性宮家の創設に係る皇室典範の改正に慎重な対応を求める意見書案」が提案されましたが、賛成少数で否決されました。

### 民主市民連合 竹内 忍一

#### 安威川沿いの封鎖道路

早急に解除手続きを進めよ

問 川園町の府営住宅前から南正雀へ向かう道路が、長年封鎖されており、地元住民は大変な迷惑を被っている。

この道路は安威川沿いの堤防上の道路で、河川管理者である大阪府茨木土木事務所に対し、封鎖解除に必要な申し出を行わなければならないが、市側の怠慢で手続きが進んでいないと聞く。

役所間の問題は市民生活には無縁である。封鎖解除に向け、早急に手続きを進めるべきではないか。

答 建設緑化部長 指摘の場所は、



封鎖されている安威川沿いの道路(川園町)

河川管理者が安威川や堤防等の管理用通路として整備したもので、大阪府の住宅管理者が川園住宅の管理上、敷地内において封鎖していると聞いている。解除については、河川管理者と住宅管理者からこれまでの経緯を確認し、調整する必要があると考えている。

また、本市が管理する場合には、広範囲において交通の流れが大きく変化することから、各交差点付近の安全対策や既存の堤防道路の幅員の見直し等を行う必要があるため、今後、交通管理者である吹田警察署も含めて協議していきたい。

#### 大阪維新の会との関係

本市独自の市政運営を

問 これまで市長は、大阪都構想で本市が区になる必要はないと答弁してきた。昨年の選挙で大阪維新の会の府知事、大阪市長が誕生した現時点においても、その考えに変わりはないか。

また、市政の重要課題について、地方公共団体である本市が、一地域政党の大阪維新の会に相談し、助言を受ける関係に立つのか。改めて市長の見解を聞きたい。

答 市長 大阪都が実現した場合、本市が区になる必要はないとの考えに変わりはない。

### 日本共産党 竹村 博之

#### 公共料金の一斉値上げ

本提案を撤回せよ

問 12月議会に、公共施設の使用料など公共料金の急激な値上げが提案されている。

今回の提案による新たな市民負担をどう試算しているのか。

答 政策推進部長 昨年度の決算額をもとに試算すると、使用料、手数料及び自己負担金の改定で、合計約2億3000万円の歳入増加を見込んでいる。

問 公共料金の安さは、子育て支援策の充実とともに、本市の住みやすさの評価につながっ

ている。市民の文化的、社会的活動を保障するのは行政の役割であり、責任である。大幅な負担増により、市民の自主的な活動や行政への参加が抑制されるのではないかと懸念する。

これだけ多岐にわたる市民負担増を提案する際には、利用者の意見を把握する必要があるが、その努力も見られない。本提案をいったん撤回し、利用者の声を聴くべきではないか。

答 同 施設使用料は長期間見直しが必要とされている。見直しは必要と考えている。

今後とも、吹田市長としての立場を最優先に市政の執行に当たっていく。

問 本市は中核市へ移行する要件を備えているが、保健所やその他の権限移譲に伴う市の財政負担が予測できず、これまで議論がストップしていた。住民に身近な基礎自治体である本市ができるだけ多くの事務を担い、多くの市民ニーズに応えるためには、ある程度費用を充てても中核市へ移行するという議論を加速させるべきである。今の行政区域で考えられるだけの権限と財源を最大化するよう取り組むべきではないか。

答 同 住民に身近な基礎自治体として、独自の判断で施策を展開し、市民満足度の高い市政を実現するために、積極的に権限の移譲を受け、必要な権限と財源を持たなければならないと考えている。

中核市への移行については、現在取り組んでいる抜本的な行政改革の道筋を付ける中で、諸課題を整理しながら推進したい。

#### 産業労働にぎわい部長

施設利用者の意見は、アンケート等により聴取できると考えている。今後、施設を利用しない方の意見の把握方法や、各施設の施設管理経費の周知方法についても検討し、広く市民意見の聴取や情報の共有化に努めたい。

#### ガンバ大阪新スタジアム

市民スポーツの発展に

問 ガンバ大阪新スタジアム建設に向けての条件が整ったが、一民間企業であるガンバ大阪に本市が肩入れすることに、市民の理解は得られない。建設後に新たな市民負担が生じることはないのか。

答 体育振興部長 新スタジアムは年間100日程度の市民利用が可能と見込んでおり、優れた設備の下で、さらに生涯スポーツの推進を図りたい。また、身近に高度なスポーツイベントに触れる機会が創出されることで、多くの市民がスポーツに関

### すいた市民クラブ 梶川 文代

#### 子どもたちの教育予算

拡充に向けて努力せよ

問 来年度予算の編成作業が進められているが、教育委員会が熱意や努力が見えない。児童数の増加や机の大型化により、教室内の空間が非常に狭く感じるようになってきている。子

どもたちの学習環境を考え、学級定数を見直すべきではないか。

答 教育委員 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正により、来年度から地域や学校の実情に応じた柔軟な学級編制が可能となる。今後は学校ごとの実態を把握し、子どもたちにとっ

### みんなの未来 山口 克也

#### 千里南地区センター再整備

施設の有効活用を

問 再整備中の千里南地区センターにおいて、大阪府タウン管理財団は、千里南センタービルと千里市民センタービルの底地を含むリザーブゾーンの整備に向け、事業者募集を始めた。建物取り壊しについて市議会の

意思を表明する前に土地を売却しないよう、事業者募集の中止を市から申し入れるべきである。両ビルはまだ活用できる建物

てよりよい学習環境づくりを検討していきたい。

問 来年度予算は、各部分からボトムアップにより、誠意ある編成を行うべきである。児童数が増加しているのに今年度と同額の予算であれば、子ども一人当たりの予算は減額となる。教育委員会は、さらなる教育の充実を求め、子ども一人当たりの予算額を今年度並み以上にす

るよう要求すべきである。教育委員会の見解を聞きたい。

答 教育委員 将来世代に負担の先送りしない財政基盤の確立は大切であるが、将来を担う子どもたちにかかる教育予算は負担の先送りにはならないものと考えている。非常に厳しい財政状況ではあるが、今後とも学校配分予算等を含め、できるだけ厚い教育予算の獲得に努めたい。

#### 要望・陳情

9月定例会閉会后、次の要望・陳情書が提出されました。福祉バス貸付事業の存続を求める要望書(3件) 公立保育園一部民営化に反対する陳情書(2件) 吹田市再生資源集

回回収報金交付事業の現行制度存続を求める要望書(4件)

「事業見直し会議」結果による障害者施策の一方的な削減をやめることを求める要望書(73件) サッカースタジアム建設の要望書 TPP参加を求め、大震災・原発事故からの復興・復興、農林漁業の発展を目指すための申し入れ書 すべての子供たちに豊かな未来を託すための施策の拡充を求める緊急要望書(37件) 今般の見直し会議における福祉施策を後退させることなく、充実を求める要望書 吹田市私立幼稚園保護者補助金交付条例改正案の見直しを求める陳情書 万博記念公園内へのサッカースタジアム建設に係る要望 再生資



子どもたちが楽しむサッカー(昨年のサッカーフェスタinすいた)

利用が可能と見込んでおり、優れた設備の下で、さらに生涯スポーツの推進を図りたい。また、身近に高度なスポーツイベントに触れる機会が創出されることで、多くの市民がスポーツに関

心をもち、親しむことができる。今後、新スタジアムを活用した、スポーツ振興施策のさらなる充実について、関係部局と協議し、検討したい。

常任委員会の審査から

各委員会に付託された主な議案について、審査した内容の一部(主な質疑項目、意見の概要)をお伝えします。

財政総務

職員給料の特例条例の制定  
職員給与条例の一部改正  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

給料減額により職員のモチベーションを低下させない工夫  
市民に減額の全体像を示したうえで明確な説明の必要性  
主任職設置の必要性及び主任に昇格する際の適正評価  
当初の削減目標額に不足する金額を削減する方策

＜意見の概要＞

- 1 人事評価制度における目標を明確にして、職員がモチベーションを高め、キャリア向上を目指す、自信を持って勤務できるように配慮されたい。
- 2 分限・懲戒処分の基準を大きく上回る引き下げは問題がある。また市民福祉の向上とも全く関連性がない。労使合意を尊重し、やむなく賛成する。
- 3 今回の改正には足りない部分もあるが、わたりの解消など一定の努力を認め、賛成する。
- 4 今回の給与制度改革は、悪しき制度のまとも化であり、厚遇の上乗せとの増減では、微妙たる効果しかないことを市民に伝え、今後は、市民に隠しごまかす状況を是正されたい。
- 5 市長の公務員制度改革等の実態は理解できた。本案は改革の第一歩目と理解したうえで承認する。

教育委員会の職務権限の特例条例の制定  
事務分掌条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

＜主な質疑項目＞

行政経営部の設置による本質的改革的実現性及びその役割  
財政室と税務室を違う部にする理由

＜賛成意見の概要＞

- 1 市長が政策遂行に向け組織改正をするのは重要であり、問題点を克服し、実行されたい。
- 2 行政経営部に権限が集中しないよう、実際に組織を動かす強制的な組織へ変更されたい。
- 3 今回の機構改革で市民のための行政運営に不合理な点が生じた場合は、改められたい。

＜反対意見の概要＞

市民生活に大きな影響を与える行政の維新プロジェクトの推進が第一になっており、係制や財務部の廃止などの疑問点も解消されていないため反対する。

文教市民

平和祈念資料館条例  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

小・中学校の平和学習授業への活用  
アンケート調査の実施  
歴史認識等を正しく判断できる専門アドバイザーの配置

＜意見の概要＞

平和の尊さ、戦争の悲惨さを

次世代に伝えていくことは大切な取り組みであり、平和祈念資料館は拠点となる施設である。今回、拡充することを評価する。負担付きの寄附の受納  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

入場者数見込みや経済効果を把握し、新スタジアム運営に長期的な見通しを持つ必要性  
将来の大規模修繕のためのガンバ大阪による年間5000万円の積み立ての実現可能性  
ガンバ大阪の試合以外に国際的な試合を開催するなど新スタジアムの収益向上策の検討

＜意見の概要＞

- 1 新スタジアム建設により、市民スポーツと地域経済の発展につながることを期待する。
- 2 新スタジアムが地域コミュニティの拠点となることを期待する。また、交通アクセスや周辺環境の保全などに留意し建設を進められたい。

福祉環境

高齢者生きがい活動センター  
1 条例 (全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

施設の利用定員及び現在、千里市民センター等で生きがい活動を行っている高齢者の利用スペースの確保  
開設と同時に指定管理者制度を導入する理由及び市が責任を持った施設運営  
福祉や介護等の専門的な機関との連携

＜意見の概要＞

南千里地区以外でも類似施設を要望するニーズが潜在していることから、今後は別館の整備も検討されたい。

＜主な質疑項目＞

事業者と関係地域住民との十分な意見交換実施の必要性  
対象事業から「駐車場の建設」を削除する理由  
ガンバ大阪新スタジアム建設など市内の開発事業に与える

＜意見の概要＞

新たな指定管理者指定による

コスト削減の可能性  
＜反対意見の概要＞  
選ばれた事業者は労働者派遣事業者であり、市民サービスを担う施設の運営事業者にはふさわしくない。  
文化会館の指定管理者の指定  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

指定管理者の選考を非公募とする基準  
指定期間をこれまでの3年から5年に変更した理由  
多額の委託料となるにもかかわらず、選考基準や評価項目が不十分であることの問題

＜意見の概要＞

影響  
大規模な運動・レジャー施設の建設による周辺地域への負荷と建設前の対策の実施  
開発事業の手続等に関する条例や景観まちづくり条例との関係

＜意見の概要＞

手続き期間の設定や、高さ制限の緩和は納得できないが、審議会等の意見を受け、以前の提案より改善していることは理解できるため、やむなく賛成する。

＜意見の概要＞

千原山竹園児童センターの指定管理者の指定  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

指定管理者独自の給与体系による人件費削減努力の必要性  
利用対象地域を千里山地域に限定するかどうかの指定管理者会則の修正  
事故発生時等の責任の所在  
今後の本施設の指定管理者選定における公募制導入の是非を見直す必要性

＜意見の概要＞

1 地域全体のまちづくりに資する、市民全体が共有できる資産とすることを強く要望する。  
2 本情報館の整備に続いて、必要な地域での情報館の整備も検討することが示されたので、賛成する。



千原山竹園児童センター

建設

(仮称)南千里駅前公共公益施設整備事業契約の一部変更  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

施設概要を変更するに至った



整備が進む(仮称)南千里駅前公共公益施設

＜主な質疑項目＞

経緯  
施設をより有効的、効率的に機能させる、弾力的な運営  
業務内容の変更や物価変動等による契約金額の改定を市が主体的に行う必要性

＜意見の概要＞

情報館設置の市民のメリット  
年間来館者数見込み及び費用対効果を検証し、柔軟に事業を見直す必要性

＜意見の概要＞

駅前非常な機能で、高コストとなる建物で情報館を維持すべきではない。  
下水道条例の一部改正  
(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

排水設備指定工事店指定手数料等の改定について  
改定による事業者への影響  
改定後の他市との手数料比較  
事業者への周知徹底

＜意見の概要＞

この「すいた市議会だより」は16万8,400部作成し、1部当たりの単価(配布費用を含む)は10円です。

議会 日誌

9月定例会閉会後の主な議会議動は、次のとおりです。

【10月】

- 21日 決算審査特別委員会
- 31日 議会改革特別委員会
- 【11月】
- 2日 決算審査特別委員会
- 4日 決算審査特別委員会
- 7日 決算審査特別委員会
- 8日 決算審査特別委員会
- 10日 決算審査特別委員会
- 14日 議会広報委員会
- 17日 吹田操車場跡地利用対策特別委員会
- 21日 都市環境防災対策特別委員会
- 22日 市民病院の在り方検討特別委員会

29日 別委員会  
2日 議会運営委員会  
6日 議会広報委員会  
8日 議会改革特別委員会  
13日 議会広報委員会  
14日 本会議  
15日 本会議  
16日 本会議  
19日 常任委員会(財政総務、文教市民、福祉環境、建設)

平成24年(2012年)3月定例会日程案

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。定例会の日程案は、2月下旬に開催される予定の議会運営委員会で内定しますので、詳細は議会事務局(直通電話6384-2696)までお問い合わせください。

- 3月1日(木) 本会議(提案説明)
- 8日(木) 本会議(代表質問)
- 9日(金) 本会議(代表質問)
- 12日(月) 本会議(質問)
- 13日(火) 本会議(質問)
- 14日(水) 委員会
- 15日(木) 委員会
- 16日(金) 委員会
- 19日(月) 委員会
- 26日(月) 本会議(討論・採決)

インターネット放映が始まります

平成24年(2012年)3月定例会から、市議会のホームページで、本会議の様子をインターネット放映します。生中継のほか、録画でも放映する予定にしています。ぜひご覧ください。

市議会だよりが変わります

平成24年(2012年)3月定例会号から、内容をさらに充実させるとともに、市報すいたと合同で発行します。(3月定例会号は、市報すいた6月1日号に掲載予定)今後とも市議会だよりをよろしく願います。